

沢山の支援物資を手 に喜ぶ女川町のみなさん

22 日午前 7 時から青空市の準備開始。前日夜から降り出した雨の中、テントの設営や物資並べに必死で取り組みました。

物資の配布は午前 9 時からなのに、1 時間も前から人々が集まり始め、開始時刻にはすでに長蛇の列ができていました。

それが終わると、すぐに第 2 会場へ。

そこでもすでに買い物袋を持った皆さんが集まっていました。雨にもかかわらず開始時刻にはものすごい人の列。米や野菜、毛布、コタツ、日用品などの物資をそれぞれ受け取っていただきました。「こんなに沢山」「ありがとう」という皆さんの声が、逆に私たちに元気を与えました。

謝辞

池田町のみなさんはもちろん、遠く塩尻市や松本市、安曇野市、松川村、大町市など池田町内外から支援物資を届けてくださった皆さんに心から感謝いたします。

また、連日にわたる物資の仕分けや梱包を見事にやりとげ、現地での支援活動を支えて下さったボランティアの皆さんに深く感謝いたします。

以下の団体、企業などの方々には、物資の仕分けや搬送その他で大きなお力を頂きました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

会場・テント 池田町商工会
案内チラシ配布 矢崎新聞店
精米など 安曇野池田
こめ太郎の館

車両 (株) 小口精工
車両 (株) アイビーアイ物流



1 スペースゼロで物資をトラックに運ぶボランティアのみなさん



2 布団や毛布で一杯になった 4 トントラック



3 朝 6 時半、役場前での出発式。松澤周三副団長があいさつ



4 先発スタッフ（トラック）が女川町商工会に義援金を届けました



5 第 1 会場で大急ぎで梱包を解き、テントの下に品物を並べるスタッフ



6 米やタマネギ、ニンジンなどを運ぶ矢口稔団長。お、重い・・・



7 受付に並んで、米や野菜を受け取る仮設住宅のみなさん



8 たくさんの品物を受け取ってもらうことができました



9 仮設住宅集会所では衣類や毛布を配布。衣類を選ぶ人で大混雑



10 第 2 会場は、さらに長蛇の列。しかしどこか和やかな雰囲気です



11 暖房器具の抽選風景。じゃんけん大会で盛り上がる皆さん



12 第 2 会場では、雨で衣類を広げることができず、本当に残念



13 青空市以外の仮設住宅へは宅配に。受け取ってニコリする住民



14 女川出身のスタッフと再会して喜ぶ近所の方。感動の一コマでした



15 台風水害の地域も訪問。住民と語り合うスタッフ